

---

令和 2 年度 教育課程研究集会  
中 学 校 道 徳

---

奈良県教育委員会事務局学校教育課  
指導主事 丹下 博幸  
E-mail [tange-hiroyuki@office.  
pref.nara.lg.jp](mailto:tange-hiroyuki@office.pref.nara.lg.jp)

はじめに

# 道徳教育における評価の意義

教師

指導の目標や計画、指導方法の改善・充実に取り組むための資料となるもの

生徒

自らの成長を実感し意欲の向上につなげていくもの

指導に生かされ、生徒の成長につながる評価でなくてはならない

指導と評価の一体化

# 評価の意義

生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにすること。また、各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすること。

中学校学習指導要領「第1章 総則」の「第3 教育課程の実施と学習評価」の2の(1)

# 道徳科の評価の基本的態度

道徳科は、道徳教育の目標に基づき、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によって**道徳性を養うことがねらいである。**

道徳性とは、人間としてよりよく生きようとする人格的特性であり道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲及び態度を諸様相とする内面的資質である。このような道徳性が養われたか否かは、**容易に判断できるものではない。**

しかし、道徳性を養うことを学習活動として行う道徳科の指導では、その**学習状況**や**成長の様子**を適切に把握し**評価することが求められる。**

# 道徳科の評価の基本的態度

道徳科は、道徳教育の目標に基づき、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によって**道徳性を養うことがねらいである。**

道徳性とは、人間としてよりよく生きようとする人格的特性であり道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲及び態度を諸様相とする内面的資質である。このような道徳性が養われたか否かは、**容易に判断できるものではない。**

しかし、道徳性を養うことを学習活動として行う道徳科の指導では、その**学習状況**や**成長の様子**を適切に把握し**評価することが求められる。**

## これまで行ってきた道徳教育の評価

評価の公的な文書である「指導要録」の場合

### 行動の記録

- ◇基本的な生活習慣
- ◇健康・体力の向上
- ◇自主・自律
- ◇責任感
- ◇創意工夫
- ◇思いやり・協力 …

十分満足できる状況にあると判断される場合に○印を付ける評価

### 総合所見及び指導上参考となる諸事項

生徒の成長の状況を総合的に捉え、記述する評価

教育活動全体で見られた  
生徒の道徳的な行為等から見取る評価

# 新たに加わった道徳科の評価

## 道徳科の授業で見取る生徒の評価

生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を**継続的に**把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。

中学校学習指導要領「第3章 特別の教科 道徳」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の4

# 道徳科の評価の在り方

- ・ 数値による評価ではなく、記述式とすること
- ・ 個々の内容項目ごとではなく、大きくくりなまとまりを踏まえた評価とすること
- ・ 他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として行うこと
- ・ 学習活動において生徒がより多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかといった点を重視すること
- ・ 発達障害等のある生徒が抱える学習上の困難さの状況等を踏まえた指導及び評価上の配慮を行うこと
- ・ 調査書に記載せず、入学者選抜の合否判定に活用することのないようにすること



## 道徳科における学習状況等に関する評価の**視点**例

### ○一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか

- ・道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えようとしているか
- ・自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしているか
- ・複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしているか

### ○道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか

- ・読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしているか
- ・現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直しているか
- ・道徳的な問題に対して、自己の取り得る行動を他者と議論する中で、道徳的価値の理解を更に深めているか
- ・道徳的価値を実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしているか

## 道徳科における学習状況の例

道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習

- ・ 道徳的価値のよさや大切さについて考えようとしている。
- ・ 道徳的価値について、一つの見方ではなく様々な角度から捉えて考えようとしている。
- ・ 道徳的価値について、自分のこれまでの体験から感じたことを重ねて考えようとしている。
- ・ 授業で学んだ道徳的価値のよさを感じ、これからの自分の生き方に生かそうとしている。 など

# 道徳科における学習指導過程や指導方法に関する評価の観点例

- ア 学習指導過程は、道徳科の特質を生かし、道徳的価値の理解を基に自己を見つめ、人間としての生き方について考えを深められるよう適切に構成されていたか。また、指導の手立てはねらいに即した適切なものとなっていたか。
- イ 発問は、生徒が広い視野から多面的・多角的に考えることができる問い、道徳的価値を自分のこととして捉えることができる問いなど、指導の意図に基づいて的確になされていたか。
- ウ 生徒の発言を傾聴して受け止め、発問に対する生徒の発言などの反応を、適切に指導に生かしていたか。
- エ 自分自身との関わりで、物事を広い視野から多面的・多角的に考えさせるための、教材や教具の活用は適切であったか。
- オ ねらいとする道徳的価値についての理解を深めるための指導方法は、生徒の実態や発達の段階にふさわしいものであったか。
- カ 特に配慮を要する生徒に適切に対応していたか。

指導に生かす **自分自身との関わり** の中で深めている例

- ・ 教材の登場人物を自分に置き換えて考える。
- ・ 教材の問題点等を自分事として受け止めて考える。
- ・ 日常生活や学校生活等を想起しながら考える。
- ・ 自分の生活を見つめ、振り返りながら考える。
- ・ 自分だったらどうするかなど考える。 など

## 指導に生かす具体的な **多面的・多角的な見方** の例

- ・ねらいとする道徳的価値の様々な面を考える。
- ・道徳的価値を支える様々な根拠を考える。
- ・様々な登場人物の立場で考える。
- ・焦点を絞って考えたり、視野を広げて考えたりする。
- ・時間の経過とともに変化する気持ちを考える。
- ・人間の強さや弱さ等を捉えて考える。                      など

# 道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、**道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習**を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

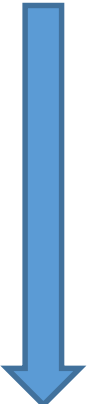
中学校学習指導要領 「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」

## 道徳的諸価値についての理解

### 道徳的価値

よりよく生きるために必要とされるもの

人間としての在り方や生き方の礎となるもの



学校教育においては、これらのうち発達の段階を考慮して、生徒一人一人が道徳的価値観を形成する上で必要なものを**内容項目**として取り上げている。

将来、様々な問題場面に出会った際に、その状況に応じて人間としての生き方を考え、主体的な判断に基づいて道徳的実践を行うためには、**道徳的価値**の意義及びその大切さの理解が必要になる。

[自主、自律、自由と責任]

自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。



# 道徳科の内容

## 内容

中

### A 主として自分自身に関すること

【自主、自律、自由と責任】 【節度、節制】 【向上心、個性の伸長】  
【希望と勇気、克己と強い意志】 【真理の探究、創造】

### B 主として人との関わりに関すること

【思いやり、感謝】 【礼儀】 【友情、信頼】 【相互理解、寛容】

### C 主として集団や社会との関わりに関すること

【遵法精神、公德心】 【公正、公平、社会正義】  
【社会参画、公共の精神】 【勤労】 【家族愛、家庭生活の充実】  
【よりよい学校生活、集団生活の充実】  
【郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】  
【我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】 【国際理解、国際貢献】

### D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

【生命の尊さ】 【自然愛護】 【感動、畏敬の念】 【よりよく生きる喜び】

## 道徳的諸価値についての理解

# 道徳的諸価値についての深い理解

中学生は、道徳的価値について、ある程度の理解は有している。

様々な体験、道徳科の教材  
他者との対話

自己との関わりを問い直す

複数の道徳的価値の中から、どの価値を優先する  
のかの判断を迫られる

心の揺れや選択した結果

# 道徳的諸価値について理解する

## 価値理解

道徳的価値は、人間としてよりよく生きる上で大切なことであると理解すること

## 人間理解

道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さなども理解すること

## 他者理解

道徳的価値を実現したり、実現できなかったりする場合の感じ方、考え方は一つではない、多様であるということ为前提として理解すること

道徳科の中で道徳的価値の理解のための指導をどのように行うのかは、授業者の意図や工夫によるが、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うには、道徳的価値について理解する学習を欠くことはできない。また、指導の際には、**特定の道徳的価値を絶対的なものとして指導したり**、本来実感を伴って理解すべき道徳的価値のよさや大切さを**観念的に理解させたりする**学習に終始することのないように配慮することが大切である。

# 自己を見つめる

## 中学生という時期

- ・ 様々な葛藤や経験の中で、自分を見つめ、自分の生き方を模索するようになる。
- ・ 感情や衝動の赴くままに行動し、自分の弱さに自己嫌悪を感じることもある。
- ・ 理想や本来の自分の姿を追い求め、大きく前進しようとすることもある。

大きく、激しい心の揺れを経験しながら

## 自己を確立

真摯に自己と向き合い、自分との関わりで改めて道徳的価値を捉え、一個のかけがえのない人格として**その在り方や生き方など自己理解を深めていく必要がある。**

## 物事を広い視野から多面的・多角的に考える

生徒一人一人の道徳的価値に係る諸事象を、小・中学校の段階を含めたこれまでの道徳科を要とする各教科等における学習の成果や、「主として自分自身に関すること」、「主として人との関わりに関すること」、「主として集団や社会との関わりに関すること」、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の四つの視点を踏まえ、多面的・多角的に考察する学習を意味している。

物事を広い視野から多面的・多角的に考察する指導のためには



諸事象の背景にある道徳的価値の多面性に着目させ、様々な角度から総合的に考察することの大切さや、いかに生きるかについて主体的に考えることの大切さに気付かせることが肝要

## 人間としての生き方についての考えを深める

- 中学生の時期は、人生に関わるいろいろな問題についての関心が高くなり、人生の意味をどこに求め、いかによりよく生きるかという人間としての生き方を主体的に模索し始める時期である。人間にとって最大の関心は、人生の意味をどこに求め、いかによりよく生きるかということにあり、道徳はこのことに直接関わるものである。
- 人間としての生き方についての自覚は、人間とは何かということについての探求とともに深められるものである。生き方についての探求は、人間とは何かという問いから始まると言ってもよい。人間についての深い理解なしに、生き方についての深い自覚が生まれるはずはないのである。
- 人間についての深い理解と、これを鏡として行為の主体としての自己を深く見つめることとの接点に、生き方についての深い自覚が生まれていく。そのことが、主体的な判断に基づく適切な行為の選択や、よりよく生きていこうとする道徳的実践へつながっていくこととなる。
- このような視点に立って、生徒が人間としての生き方について考えを深められるように様々な指導方法の工夫をしていく必要がある。

# 学校再開後の道徳教育の推進、充実

## 道徳教育の指導計画を確認する際のポイント

### 1 道徳教育の全体計画

○ 学校教育目標と道徳教育の重点目標の確認  
道徳科の年間指導計画などを見直す際、各学校における教育活動の柱となるのが学校教育目標であり、道徳教育においては道徳教育の重点目標です。

#### → 重点とすべき事項、内容項目の確認

併せて、中学校学習指導要領第1章第6の2に示されている指導内容の重点化についても留意してください。

- 自立心や自律性を高め、規律ある生活をする
- 生命を尊重する心や自らの弱さを克服して気高く生きようとする心を育てること
- 法やきまりの意義に関する理解を深めること
- 自らの将来の生き方を考え主体的に社会の形成に参画する意欲と態度を養うこと
- 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重すること
- 国際社会に生きる日本人としての自覚を身に付けることに留意すること

## カリキュラム・マネジメント

※現下の状況を踏まえて

「新しい生活様式」を踏まえた学校衛生管理上、身体的距離の確保等の指導から、人々との関わりから得られる心が育みづらい状況があります。また、医療従事者などへの不当な差別やSNSにおける誹謗中傷などの問題が報道されています。このような事象について直接的な指導も必要ですが、**道徳科の授業では、生徒が道徳的価値を自覚し、人間としての生き方について考えを深め、日常生活や今後出会うであろう様々な場面、状況において、道徳的価値を実現するための適切な行為を主体的に選択し、実践することができるような道徳性を育てることが、その本質である**ことを踏まえ、この状況下でどのような内容項目を重点的に指導するかも検討する必要があります。

例えば……

- 相互理解、寛容
- よりよい学校生活、集団生活の充実
- 節度、節制
- 遵法精神、公德心
- 生命の尊重 など

心のケア

# 学校再開後の道徳教育の推進、充実



2 初教課第 5 号  
令和 2 年 6 月 5 日

各都道府県教育委員会指導事務主管課長  
各指定都市教育委員会指導事務主管課長  
各都道府県私立学校事務主管課長  
附属学校を置く各国立大学法人附属学校事務担当課長  
構造改革特別区域法第 13 条第 1 項の認定を受けた  
各地方公共団体の学校設置会社事務担当課長

發

文部科学省初等中等教育局教育課程課長  
滝 波



文部科学省初等中等教育局教科書課長  
中 野 理 典



学校の授業における学習活動の重点化に係る留意事項等について（通知）

「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等の実施における『学びの保障』の方向性等について」（令和 2 年 5 月 15 日初等中等教育局長通知）において、臨時休業及び分散登校の長期化などにより学校の授業における通常の学習活動で指導を終えることが困難な場合の特例的な対応として、学習指導要領に定める内容が効果的に指導できるよう、個人でも実施可能な学習活動の一部を ICT 等を活用して授業以外の場において行うことなどにより、学校の授業において行う学習活動を、教師と児童生徒の関わり合いや児童生徒同士の関わり合いが特に重要な学習への動機付けや協働学習、学校でしか実施できない実習等に重点化することが考えられる旨、示したところです。

この度、教科書発行者の協力を得て、小学校第 6 学年（義務教育学校第 6 学年を含む。以下同じ。）及び中学校第 3 学年（義務教育学校第 9 学年及び中等教育学校第 3 学年を含む。以下同じ。）の教科書の取扱いに当たり、授業以外の場において取り扱うこととすることが考えられる活動を具体的に示すなど、授業に

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域によっては長期の学校休業措置が取られた結果、生徒の「学びの保障」が喫緊の課題となっています。そこで、左の通知においては、学校再開後、登校日の設定や分散登校の実施、時間割編成の工夫等の取組を行い学校における指導を充実したとしても、なお年度当初予定していた内容の指導を本年度中に終えることが困難である場合の特例的な対応を示しています。

## 2 道徳科の年間指導計画

「特別の教科 道徳」（道徳科）では、その扱いについて次のように示しています。

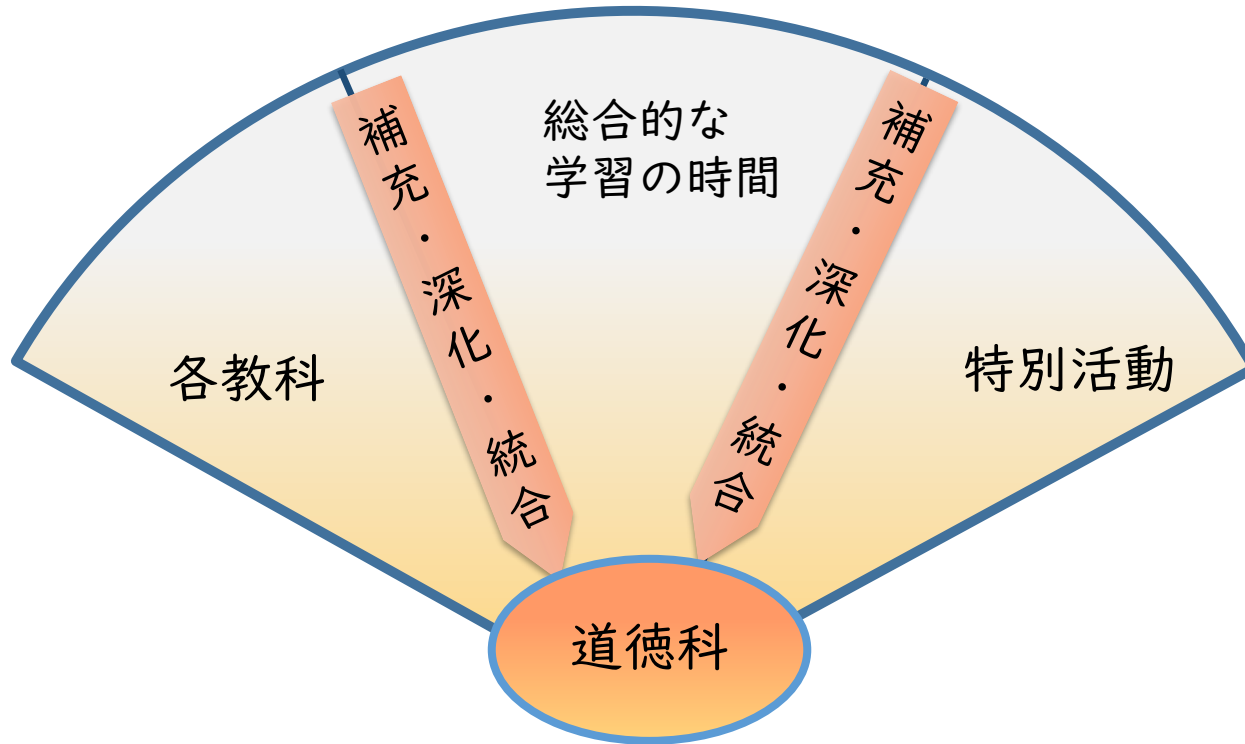
○中学校学習指導要領（平成29年告示）第3章第3の「指導計画の作成と内容の取扱い」の1において、道徳科の年間指導計画を作成するに当たって「第2に示す内容項目について、各学年において全て取り上げることとする。」とされていることを踏まえ、学校の授業で全ての内容項目を取り上げることが求められる。その上でどの内容項目を授業でより重点的に指導するのかについては、各学校で十分に検討し、判断することが重要である。

「どの内容項目を授業でより重点的に指導するかについては、各学校で十分に検討し、判断すること」については、道徳教育の全体計画や別葉、「特別の教科道徳」の年間指導計画を、休業後の生徒の様子を踏まえながらも一度確認し、教職員間で共通認識の下、道徳教育を充実させる必要があります。



# 学校再開後の道徳教育の推進、充実

## 道徳教育の要としての道徳科の授業



### 補充

各教科等で行う道徳教育としては取り扱う機会が十分ではない内容項目に関わる指導を補う

### 深化

各教科等で行った道徳教育について、生徒の実態等を踏まえて指導をより一層深める

### 統合

内容項目の相互の関連を捉え直したり発展させたりする